

## TRIZ 活用による既存製品における認識の再構築

鈴木孝典(水島プレス工業株式会社)

### 概要

水島プレス工業株式会社は、プレス加工、スウェーピング等、塑性加工の技術を中心として、「ステアリングシャフト」、「ドアヒンジ」をはじめとする自動車部品の開発、製造を行っている。近年、進化し続ける自動車において、更なる低燃費目標による軽量化、また動力の静音化による部品間におけるガタつき低減等、各部品においても、様々な進化が求められている。半世紀以上、自動車部品を製造してきた当社において、既存の製品に対するものづくりの考え方は、良くも悪くも大きく変化することが無く、近年におけるものづくりにおいても、新たなアイデア創出に至らず、従来の方式で何とか作るというやり方をしてきた。そこで、株式会社IDEA様にご支援いただき、TRIZを核とした体系的開発手法を既存の製品に導入した。一つ一つの部品機能及び問題点を分析し、TRIZにより創出したアイデアを落とし込むことで、部品構成の変更及び部品精度を向上させずに、大きく性能を向上させることができた。TRIZを核とした体系的開発手法のプロセスを体感することで数十年もの間、大きく変化することのなかった製品への考え方を大きく変えるきっかけになった。

### 内容説明

近年、様々な技術が大きく発展していく中で、その背景には、TRIZをはじめとする多くの開発手法が存在し、それらを後押しし、多大な貢献をしている。これまで、開発手法への取り組みの多くは、大企業を中心として活動されてきた。その中で、技術の発展とともに部品一つ一つの進化も要求されていることは確かである。当社を取り巻く環境も同様であり、今後もお客様に求めているだけの製品をご提供させていただくには、ものづくりの考え方を換え、進化させていかなければならないと考える。当社の行ったTRIZを核とする体系的開発手法導入による既存の製品への考えを再構築するという活動は、当社のような中堅企業に対しても、ご参考にして頂けることが多いと考える。発表内容は、以下による。

①水島プレス工業株式会社の会社概要

②TRIZを核とする体系的開発手法導入の目的及び経緯  
TRIZを核とする体系的開発手法導入にあたり、当社として、どういった目的を持ち、導入に至った経緯を紹介する。

- ③TRIZを核とする体系的開発手法導入による活動の流れ  
実際に活動として、まずどういった形から、活動が始まり、どういう形でまとまるのかをご紹介します。本項が本発表の主の内容となる。
- ④TRIZを核とする体系的開発手法導入による活動の成果  
③項のまとめをおこなう。
- ⑤今後の展望  
今回、TRIZを核とする体系的開発手法導入により、一連の流れでプロセスを体感し、当社として感じた可能性や今後の展望をご紹介します。